

サッティヤグラハ —社会運動と映画—

SATYAGRAHA: Social Movement & Cinema

ラム・ドヴィヴェーディ
(東京外国語大学)

Ram Dwivedi
(Tokyo University of Foreign Studies)

ディスカッサント：深尾 淳一

2014年1月25日（土）
13:00-16:00

東京外国語大学 本郷サテライト
3Fセミナールーム

(<http://www.tufs.ac.jp/access/hongou.html>)

本報告は2013年8月に封切られた映画『サッティヤグラハ』を題材に、社会運動と映画における表現の可能性を探るものである。同映画は、2011年から12年にかけて広がったアンナ・ハザーレーを中心とするAnti-Corruption運動を題材としたものであり、M.K.ガーンディーの思想を支柱とした運動の顛末を描き出そうと試みている。映画は社会運動をいかに評価し、どのような未来を描こうとするのか、そのメッセージによって人びとはどのようなインパクトを受けるのか。映画表現は単に歴史を提示する道具となってしまうのだろうか。社会運動と映画表現の接合とその可能性を多角的に論じていきたい。

